

IEEE802.11ah導入事例①LTE不感地帯における対応策

- IEEE802.11ah(WAH)を使用しデータ通信を実現
 - ・コンクリート壁に囲まれ、LTE電波が届かない機械室に設置された監視対象装置の稼働状況データを隣接するLTE圏内の部屋に配置したuM350R経由でセンター側に送信。
 - ・機械室内のWAH子機とuM350R間は、WAH無線通信を活用し、約50m離れた環境でも通信を確立しています。



※距離や環境に依存するため、実際の導入時は事前の検証をお願い致します。